

“はあと”をつなぐ情報誌



月刊 はあとふる あたご

第 60 号
【発行】
2010 年 8 月

【発行元】株式会社はあとふるあたご 〒951-8051 新潟県新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地
電話 025(228)5000 FAX025(228)4000 【発行者】木村 淳



第 1 回 はあとふるあたご 安全大会

(東北電力ビッグスワンスタジアム会議室：関連記事は 2 ページ)

目次

安全大会を開催しました・・・・・・・・・・	2	ハーフ園でランチサービス・・・・・・・・・・	8
事業所だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3～10	波田野先生のコラム 第 14 回・・・・・・	11
バッハ先生のひとりごと 第 2 回・・・・	5	職員紹介／お手軽レシピ・・・・・・・・・・	12

わたしたち はあとふるあたご は、“人” を一番大切にします。

～安全大会を開催しました～



“はあとふるあたご”の方針のひとつが、「顧客の安全・安心・自己実現」であることは、全社員が認識しています。

この度、これを確実に実現していくため、「第1回 はあとふるあたご 安全大会」を開催しました。

社員およそ90名の参加を得て、第1部が幕を開けました。

まずは、安全委員長である木村社長より、お客様の安全・安心のため、事故抑止目標達成を期すようにとの開会挨拶がありました。

続いて、社内から募った「事故予防に関する標語コンテスト」の結果発表。

まずは、優秀賞3点。

■ 小さな気付きを伝えよう 事故予防の第一歩 (グループホーム五泉)

■ 事故防止 はあとに燈 (とも) せ危険予知 (ショートステイ水原)

■ はったした その経験が《宝物》 (デイサービスセンター水原)

そして、最優秀賞1点。

■ 安全は一人一人が責任者 意識で変わる 未来の安心

(福祉用具センター柳都大橋)



最優秀賞：福祉用具センター柳都大橋

受賞事業所代表が、表彰状と賞品目録を受取りました。

1部の最後に、全員で「大会宣言」を唱和し、安全への意識を心に刻みました(表紙)。

第2部は、高橋是司さま(社会福祉法人つばめ福祉会・専務理事)より、

「介護サービスにおけるリスクマネジメント」と題したご講演をいただきました。現場の経験に立脚された、明日からの事故予防にすぐに取り入れられるお話でした。

半日の大会でしたが、これからも、安全・安心を強力に推進していくことを改めて誓うとともに、すべての社員が、安全に対する意識を一層深めていきたいと思います。

総務部総務課 栗原 秋弘(安全委員会事



講演会：高橋是司さま「介護サービスにおけるリスクマネジメント」

務局)

デイサービスセンター河渡本町

●お隣さんはどんなところ？

6月20～26日の一週間、おやつ時間に、当センター隣のファミリーレストラン「COCO'S (ココス)」へ行ってきました！！



梅雨の雨空が続く中、晴天にも恵まれ、お散歩気分、歩いて数分の遠征です♪

いざ、店内へ……☆

皆様、最初は緊張した面持ち(・。・；
しかし、メニューを広げたとたん、
パーと笑顔が咲き乱れます❀❀

←どれにしようか？ 真剣に悩み中……

“パフェ”や“ぜんざい”、“アイス”など、それぞれ好きなものを注文され、みんなで美味しくいただきました。「今日、初めて来たよ」「COCO'Sは3回くらい、友達や孫たちと来た事あるよ」等々、会話が弾まれた様子です♪♪

いつもとはまた違う、素敵なひとときを過ごされ……。

笑顔がとまりません(>_<)★♡☆

とても楽しい時間でした。ごちそう様でした❀(♡_♡)❀



デイサービスセンター河渡本町 山口 美里
電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

グループホーム三条

●6月20日 父の日

グループホーム三条では、お客様で唯一の男性である小出様をメインに、父の日の行事を行いました。

小鈴会の皆様をお迎えして、踊りやマジックなど、楽しいひと時となりました。小鈴会の皆様は、踊りもコスチュームもお見事で、10 演目のプログラムをこなしてくださいました。



最後の曲では、小鈴会の皆様とお客様が、一緒になって歌って踊り、盛り上がりも最高潮！

踊りのあとのティータイムでは、小鈴会の皆様に囲んで、和やかな雰囲気の中で父の日は締めくくられました。

小鈴会の皆様、有難うございました。

そして小出様、いつも笑顔を有難うございます。これからもよろしくお願いいたします。

グループホーム三条 板倉 康二
電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

グループホーム新津

●出張紙芝居

はじめての試みとして、学童保育の“キッズポート”へ、紙芝居を持って出掛けて来ました。低学年を対象に、紙芝居の「始まり、はじまり〜」。

読み手は、当ホームの“かたりべ”伊藤幸子さま（元・小学校の先生です）。子供達を前にした挨拶は、「さすが先生！」。

伊藤さまが語り始めると……。

子供達はすぐに、おばあちゃん先生のお話の世界に



引きこまれていきました。

これこそが狙い！ 地域に出て活動する事で、「できる力」が発揮されました。伊藤さまも、満足されたご様子。誇らしげに凜とした姿は、誰にも引けを取りません。

ご本人にとっては、シャボン玉のように消えてしまう記憶かも知れませんが……。

この一瞬一瞬を、大切にしていきたいと思います。

グループホーム新津

渡邊 やよひ

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889



デイサービスセンターさかえ

●飛行機に…… “わくわくドキドキ”

6月15日、新潟空港に行ってきました。

天気予報は雨。入梅したとの発表もあり、どうか晴れますようにと願いつつ、その日は来ました。

日ごろの行いが良かったのでしょうか。当日は、見事晴天。職員手作りの「旅のしおり」を手に、車の中でも楽しまれているご様子でした。

そして空港に到着！ 空港のロビーからエレベーターで、“わくわく”しながら屋上に上がりました。風はやや強めでしたが、青空が気持ち良く、海もきれいに見えました。



やがて、青空に飛行機が一機見えてきました。お客様、職員一同、降りて来る飛行機を、“ドキドキ”しながら固唾を飲んで見守りました。そして、静かにゆっくりと滑走路に着いた途端、沸き起こった拍手喝采！！ それはそれは見事な着地でした。

昼食を頂いた空港のレストランからは、飛び立ってゆく飛行機が間近に見え、またもや“わくわくドキドキ”しながら、松花堂御膳を美味しく頂きました。

後日、お客様が飛行機の話をご家族にされていらっしゃったと聞き、楽しんで頂けたんだと、嬉しく感じました。

デイサービスセンターさかえ

平賀 マリ子

電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

バッハ先生のひとこと 第2回

～自己紹介 その2～

新潟大学工学部福祉人間工学科 教授 工学博士／歯学博士 林 豊彦

大学院を修了した昭和 54 年、医療や生体に関わる工学がやりたくて、新潟大歯学部助手として勤め、顎の動きと歯のかみ合わせに関するバイオメカニクス（生体力学）の研究を始めました。この時代の業績は、顎の動きをコンピュータで3次元測定・解析するシステムを日本で初めて開発したことです。その成果の歯学に関する論文で「歯学博士」を、工学に関する論文で「工学博士」を取得しました。歯学部時代の11年間は、研究者としての修業期でした。

平成3年、工学部情報工学科に助教授として異動しました。まず顎運動測定器を商品化する研究を企業と始め、トライメット JKN として実用化に成功しました。測定だけでなく、顎の運動メカニズムを調べたくなり、自律顎ロボット（JSN）の開発を始めました。最近ようやく、ヒトと同じようにものが噛めるようになりました。従来の経験を生かして、医学部整形外科学講座と共同で「膝運動」の研究も始めました。情報工学科時代の7年間は、研究者としての発展期でした。（続く）



（自宅にて）

庭すみに
咲くまでしこの花のてい
淡きくれなる
愛しさきはめ

デイサービスセンター柳都大橋

●「せんべい王国」に行ってきました！！

「せんべい王国」では、せんべいの手焼き体験や試食ができ、新潟ならではの楽しい外出となりました。

せんべいを焼くお客様のお顔は、とても真剣で、見事なせんべいが焼きあがっていました。

販売コーナーでは、「これはお土産に買っていくんだよ～」「家族が喜ぶよ～」とおっしゃり、買い物かごに大量のせんべいを詰め込んでおられました☆☆



また、“せんべいソフト”という、せんべいの入ったソフトクリームがお客様に大人気で、みなさま美味しそうに召し上がっておられました♪

柳都では初めての「せんべい王国」、大好評でしたので、また、お客様と一緒に行ってみたいと思います♪

デイサービスセンター柳都大橋 熊倉 敬祐
電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335



デイサービスセンター坂井東

●貼り絵の季節

当センターでは、毎月の季節感や行事をイメージした貼り絵を、お客様に楽しんで頂いています。制作途中で全体の色合いを確認しやすいよう、大きさは画用紙大です。1月は干支の「虎」、3月は「お雛様」、6月かというと……。初夏→暑い→水→「カッパ!」。

細かい手作業がお好きなお客様が多く、ちぎっては貼り、ちぎっては貼り……。



「ここは何色がいいかなあ」と、職員も時間を忘れ、夢中になってしまいます。



お客様と一緒に作った何枚もの貼り絵が、センターの壁を毎月飾っていくことでしょう。

さあ、次は何の貼り絵にしようかな。

デイサービスセンター坂井東 石田 久仁子
電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

デイサービスセンター松浜

●「元気村」お買い物ツアー(^_^)v

6月27日、日曜日。

天気どしゃぶりの中、豊栄の「元気村」へ、買い物に行ってきました。

晴れていれば「松浜市」へ行く予定だったんですが……。どしゃぶりでしたので、屋根の付いた「元気村」に変更となりました。

そんなわけで、一行14名のお客様が、お小遣いをもち、「元気村」へ……。

「元気村」は、産地直売品や地元の名産が、ズラリと並ぶお店です。



「孫にこのケーキ買って行くわ」と、ロールケーキを2本買われた方。「私もそのケーキ買うわ」と、同じロールケーキを買われた方。「夕飯のコロッケを家族の分買ったよ」と、コロッケをたくさん買われた方。

雨にもかかわらず、楽しいお買い物となりました。ご参加くださったみなさま、ありがとうございました。

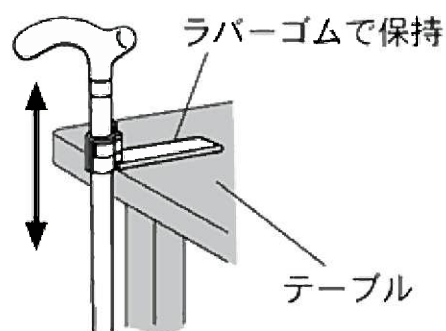
デイサービスセンター松浜 金子 ひろみ
電話 025-255-7701 FAX 025-255-7705

福祉用具課

●杖の転倒防止に役立ちます

今回は、「杖を置いておく場所が無くて困る！」「杖が転んで困る！」など、杖でお困りの方へのご案内です。

この『**転ばぬ杖N**』は、お手持ちの杖に簡単に取り付けられ、杖を使用していても邪魔になりません。



使用法は、掛ける部分を動かすだけで、とても簡単。テーブルや下駄箱に、簡単に掛けておけます。接地面はラバーゴムになっており、すべり落ちにくい構造です。

取付可能な杖の太さは、Mサイズが杖直径 15～20 mm、Lサイズが杖直径 21～25 mmです。ひも付きタイプもあります。



『転ばぬ杖N(ひも無しタイプ)』
M・Lサイズ共 定価:945円(税込)
『転ばぬ杖N(ひも付きタイプ)』
M・Lサイズ共 定価:1,575円(税込)

福祉用具センター柳都大橋 榎並 利夫

24時間・365日、いつでもお電話下さい!!▶

福祉用具センター柳都大橋 025-228-5002

福祉用具センター新 発 田 0254-23-1173

デイサービスセンター城北町

●「あやめまつり」へ出かけてきました

梅雨の最中、めずらしく晴れた6月のある日、今年も「あやめまつり」へ行ってきました。

新発田市五十公野公園のあやめ園には、300品種 60万本の“あやめ”や花菖蒲が植えられ、花の咲きそろこの時期には、毎年「あやめまつり」が開催されています。

新緑の森を車で進むと、ちょうど見ごろを迎えた紫や白、黄色の見事なあやめが見えてきました。



「うわーっ!(*^^*)」と、歓声を上げるお客様。

車を降りると、頬にあたるそよ風が心地よく、新緑の森の空気がとても清々しく感じられました。

きれいな“あやめ”や花菖蒲を鑑賞され、お客様の笑顔♡笑顔♡がいっぱいです。(^^)

またひとつ、大切な思い出ができました。「来年も、また見に行きましょうね」と、約束しました。

デイサービスセンター城北町

川崎 ゆり子

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

ふれあいハーブ園 ～ランチサービス～

デイサービスセンター横越 山田 智美

デイサービスセンター横越の「ふれあいハーブ園」も、今年で3年目を迎えます。小さかったハーブたちも着々と育ち、見ごたえあるハーブ園になって来ました。

そこで、自慢のラベンダーの開花に合わせ、6月27日と7月4日の2日間、ハーブを使ったランチのサービスを企画しました。

日頃お世話になっている、お客様、ケアマネジャー様、地域の皆様、グループホーム新津の皆様、職員とそのご家族に、お1人様300円で、ランチを提供させていただきました。



初めての試みで、私たちもドキドキでしたが、「料理が美味しかった」「香りが楽しめた」「ゆっくりと食事ができて良かった」等々の感想をいただき、スタッフ一同、大変喜んでおります。なにより、召し上がられている皆様に笑顔があったことが、**ふれあいハーブ園最大の収穫**だったと思います。



貴重なお休みに足を運んでいただき、本当にありがとうございました。今後も、ハーブの香り、ハーブの美味しさ、ハーブの良さを、提供していきたいと思います。

「ふれあいハーブ園」にご興味のある方は、いつでもお越しください。

※7月4日のランチの様子が、7月7日付「新潟日報」朝刊に掲載されました。

水原多機能施設

●鯉のぼりと菖蒲のコラボレーション♪

先月号で紹介した、瓢湖の「鯉のぼり大作戦」、覚えていらっしゃるでしょうか？

今月は、掲揚された鯉のぼりを、お客様と一緒に見学に行ってきた。(^^)v

綺麗な青空、とはいきませんでした……。

元気に泳ぐ“はあとふるあたご”の鯉のぼりを見て、



お客様からは歓声があがっていました。(^^)v



最後に、菖蒲の咲く瓢湖をお散歩して、センターへ戻りました。

色とりどりの菖蒲!! とっても綺麗でした。(^^*)

来年も、力作の鯉のぼりを作って、菖蒲祭りに参加しましょう(^^)-☆

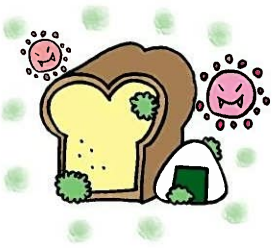
デイサービスセンター水原 山口 綾香

電話 0250-62-8888(デイ)/0250-62-8886(ショート)/0250-63-1222(小規模多機能ホーム)

FAX 0250-62-8887(共通)

訪問介護課

●この時期、要注意！ ～食中毒～



毎年、6～7月のヘルパーミーティングでは、食中毒の議題を取り上げています。

食中毒は、細菌・ウィルスのついた食品や、有害有毒物質を含む食品を飲食することによって起こり、急性な下痢、おう吐、発熱、腹痛などの症状を伴います。

6～9月の高温多湿な時期に多発し、抵抗力の弱った高齢者は特に感染しやすくなるので、注意が必要です。

ヘルパーミーティングでは、大切なポイントを再確認しました。

- ・手洗い等、清潔の遵守。
- ・冷蔵冷凍を使い、上手に保存（日付を記入）。
- ・食品購入の際は消費期限を確認し、無駄を出さないよう心掛ける。
- ・調理時の加熱は十分に。



お客様に安全に召し上がっていただけるよう、食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける！」を心がけ、調理にあたらせていただきます。

皆様、暑い夏を、健康で乗り切りましょう！！

訪問介護ステーション

井村 領子

電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

デイサービスセンター横越

●スイカが成った！

センターのハーブ園にある畑に、今年はスイカの苗を植えてみました。

植えてから肌寒い日もあって、時々お客様も、気にして見てくださっていました（写真①）。



だんだん成長して来て……。 （写真②）。
そして、ついに！ 小さなスイカの実が
成りました（写真③）。

写真はアップで撮ったので、まだ2センチほどの大きさです。でも、ちゃんと成ってくれたスイカに感激です！

畑作りの経験豊富なお客様は、苦労しながらも、こうした成長の喜び、収穫の喜びを、たくさん感じて来られたのでしょうか。

まだまだ油断はできません。カラス対策など、お客様にお聞きしながら、収穫を楽しみにしたいと思います。無事に収穫できたあかつきには、納涼祭でお出ししますね！

本当に、無事に実が大きくなりますように！！



デイサービスセンター横越

大久保 友恵

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236

グループホーム五泉

●今度はどこに出かけましょうか？

当ホームでは、お客様に気分転換を図っていただくため、天気の良い日には、足湯やドライブなどに出掛ける外出レクリエーションを行っています。

先日は、ドライブがてら、村松の薔薇園へ。

着くなり、「わあ～綺麗だね」と笑顔。(^-^)

また、お誕生日のお祝いに、お客様と御友人と一緒に、温泉へ出掛けて来ました。ゆっくりと温泉に入り、お風呂から上がると、



お酒好きなお客様は、さっそく御友人と乾杯★



「ホームにばかり居るより、こうやって出掛けると良いね。また、連れて来てね」とのお言葉に、こちらも笑顔。(^-^)

これからも、お客様の笑顔がたくさん見られるように、「お楽しみ」を提供していきたいと思ひます。

グループホーム五泉

若月 陽子

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

居宅介護支援課

●高齢者の安否を見守るサービス

現在、65歳以上の高齢者は5人に1人ですが、2055年には、2.5人に1人になるとの推計があります。1人暮らしも増え続ける見通しで、緊急時に不安を感じる方が多くなると考えられます。

したがって、高齢者の安否を見守り、いざという時の備えとなるサービスが求められてきます。

安否確認のサービスには、定期的に電話で行うものや、センサーを利用して見守るものなど、様々なものがあります。また、提供元が自治体か民間企業かにより、費用も変わってきます。

現在、新潟市には、「あんしん連絡システム」というサービスがあります。65歳以上の1人暮らし、又は高齢者のみの世帯で、健康に不安があり、定期的に安否確認を必要とする方を対象にしています。週1回の安否確認を行うほか、緊急時にボタンを押すと、24時間体制の受信センターにつながり、介護の専門家が出動するというものです。介護認定を受けていない方でも利用できますが、生計中心者の所得税額に応じて、利用料金の負担があります。

一方、民間企業のサービスは割高ですが、誰でも利用でき、さまざまなサービスが選べます。例えば、高齢者の自宅内に無線カメラと通知ボタンを設置し、緊急時にボタンを押すと、外にいる家族にメールが送られ、テレビ電話で部屋の中の確認と通話ができるサービスなどがあります。

これからは、高齢者本人だけでなく、離れて暮らす家族にとっても、安心の得られるサービスが増えてくるのではないのでしょうか。

居宅介護支援センター河渡本町

川田 千鶴子

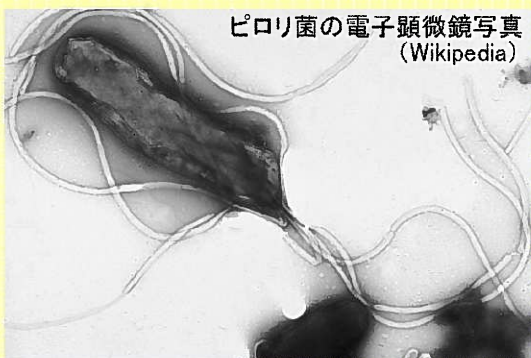
波田野先生のコラム第14回

丸山診療所 院長 波田野 徹



『ピロリ菌と胃の病気について』

ピロリ菌は、胃の粘膜に住んでいる細菌で、“ヘリコバクター・ピロリ”といいます。ピロリ菌は、1982年に発見されました。ピロリ菌が、胃潰瘍・十二指腸潰瘍の原因であることを明らかにした、オーストラリアのマーシャル博士・ウォーレン博士の2人は、ノーベル賞を受賞し、ピロリ菌はたいへん有名になりました。



現在、日本人全体では50%、2人に1人がピロリ菌に感染していると考えられています。

では、ピロリ菌は、どのようなメカニズムで、胃の病気を引き起こすのでしょうか？ ピロリ菌に感染すると、ピロリ菌が作り出すアンモニアや毒素によって、胃の粘膜が炎症を起こします。炎症が続くと、胃潰瘍・十二指腸潰瘍を引き起こし

たり、なかには胃がんの発症に至る場合もあります。

ピロリ菌に感染しても、すべての人が潰瘍や胃がんになるわけではありません。むしろ、慢性胃炎の状態で症状もなく、元気に暮らしている人がほとんどです。しかし、ピロリ菌感染者は、非感染者の5倍、胃がんにかかり易いので、ピロリ菌の感染が判明したら、除菌する事が勧められます。また最近、胃以外の病気で、血小板の減少する「特発性血小板減少性紫斑病」で、ピロリ菌の除菌が治療に有効であることも分かりました。

ピロリ菌の検査、除菌治療（内服による治療）については、簡便に行うことができます。ただし、保険適用については制限がありますので、近くの医師に相談されることをお勧めいたします。また、胃がんから身を守るため、定期的に胃がん健診も受けましょう。

☆☆ ピロリ菌の除菌が勧められる人 ☆☆

- 1) 胃・十二指腸潰瘍になったことがある人
- 2) 強い胃炎を起こしている人
- 3) 身内が胃がんにかかった人（胃がん健診も）



丸山診療所[新潟市江南区丸山 472-1] Tel. 025-278-5100

職員紹介 第36回

デイサービスセンター柳都大橋 神田 眞紀子

施設系で20数年の介護職経験がありますが、“はあとふるあたご”で、初めて在宅介護の経験をさせて頂いております。

入社して1年半が過ぎましたが、入社初日に目にした、「行ってらっしゃい!」「お帰りなさい!」で送迎される、お客様の幸せそうな笑顔は、今でも忘れられません。とても心とむとともに、ずっとこの生活を続けられるようにお手伝いしなければならないと、責任の重さを感じたものです。これからも、“初心忘るべからず”をモットーに、頑張っていきたいと思います。

ところで、私事を少し書かせて頂きます。夫と2人の娘の、4人暮らしです。娘たちが硬式テニスをしている関係で、車で日本全国に行く機会が多いのですが、なにせテニスコートが目的地なので、山間地が多いのが難点です。勝ったときには、帰りに温泉でも入って来よう!!と(大のお風呂好きです。特に毎日の朝風呂が)、それがとても楽しみで、8時間の運転も苦にならないのですが、勝負の世界ですので、いつも勝てるとは限らないのが、またひとつの難点です。

こんな私ですが、デイサービスを楽しみにご利用されているお客様と一緒に、毎日を笑顔で過ごしていきたいと思っています。今後とも、宜しくお願い致します。



簡単おいしい☆お手軽レシピ

☆キャラメルオレンジゼリー☆



<材料>4人分

- | | |
|---------------|---------------|
| ●オレンジ果汁……50cc | ●生クリーム……200cc |
| ●ゼラチン……5g | ●水 A……50cc |
| ●砂糖……60g | ●飾り用オレンジ |
| ●水 B……大さじ 2 | ●ミント |
| ●お湯……50cc | カラメル |

■暑いですね! ■食欲の落ちる季節ですが、いかがお過ごしですか? ■美味しいものを、たと食べてくださいね! ■今回は、少しこってりとしたゼリーを作ってみました! ■キャラメルのトロリとした甘さと、濃厚な生クリームで、暑さに疲れた体を休ませてあげてください■

1. ゼラチンは、水 A でふやかしておく。
2. 鍋に砂糖、水 B を入れ、強火にかける。全体が茶色になったら弱火にし、お湯を加え混ぜ、カラメルとする(飾り用に、少し取っておく)。
3. 「2」の鍋に、オレンジ果汁、生クリームを混ぜ、「1」のゼラチンを入れ、溶かす。火を止める。
4. 粗熱を取ったら、器に移して固める。飾り用オレンジとミントを飾り、取っておいたカラメルをかけて出来上がり。

デイサービスセンター柳都大橋 小嶋 幸子

～ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

<連絡先> (株)はあとふるあたご 新潟市中央区新島町通三ノ町 2284 番地 電話 025-228-5000 FAX025-228-4000
<編集委員> 岡田 健(委員長)/川田 千鶴子/羽尾 洋美/井村 領子/渡辺 伸子/齋藤 正明